

Title	史地社會 論文摘要月刊(上海大夏大學史地社會學研究室出版)
Sub Title	
Author	宮島, 貞亮(Miyajima, Teisuke)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.15, No.4 (1937. 2) ,p.190(702)- 191(703)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19370200-0191

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

た。之は一つには完全な辭書を有しないことにも起因するのであつた。しかるに、日土協會は甚だ之を遺憾とし辭典編纂の業に着手せられてゐたが、この程斯學に造詣深き内藤智秀博士鑑修のもとに三萬字を含む一千有餘頁の大辭典の刊行を見るに至つた。

會てはアリヤン民族を以て他の文化的民族の最優越者であると説いて世界を驚嘆せしめたゴビノーの獨斷的人種論があつた。今は之に對抗してトルコ語こそは他の一切の國語の母語であつて、現在の一切の文化はトルコ文化の末流であると唱へるものが出來た。(Prager Presse, Prague, Czechoslovakia, Oct. 9. cited in Current History, Dec. 1936. P. 102)。その當否は別としてトルコが新興の勢を以て各方面に進出せんとしてある奮勃たる氣は斯様な辨説の間にも窺はれるのである。革新トルコが一九二八年末にローマ字の使用を始め、我等よりも一步先きに國字の改良を試みたる英斷は五十餘頁に互る本書の附録(三)新舊土耳其語對照を見ても分るのである。それに本書には附録(一)日本語の書き方讀み方の手解き、附録(二)トルコ語十二則が加へられ、兩國語の學習者に頗る便利な手引を與へてゐる。普通斯様な編纂には先驅者たるべき土日或は日土の小辭典を見るべきであるのに、それなくして一舉にこの大業が完成せられたことは、當事者の苦心努力のほども察せられるのであつて、我等はその成功を祝するものである。之に倣つて漸次近來諸國語に對する邦文辭典が刊行せられ東方文運の隆昌に資する日あらんことを切に祈るものである。定價十圓。日土協會發行。(間崎万里)

史地論文摘要月刊(上海大夏大學史地社會學研究室出版)

本書は史學、地理學、及び社會學に關し、中國の機關雜誌に掲載された論文の内容を概括的に紹介する目的の下に、昭和九年十月、上海大夏大學史地社會研究室から印行された月刊雜誌である。從來國立編譯館から出版されてゐる圖書評論が、教育、社會、哲學、文藝に關する論文の分類摘要を行ひ、多大な便宜を與へたところがあるが、この雜誌は廢刊になつて少からず惜しまれたのである。然し大夏大學史地社會學研究室的少壯學徒が本書を刊行するに至つたことは寔に慶賀に堪へない。筆者は第二卷第四期(昭和十一年一月)以降本書を落掌してゐないが、恐らく續刊されてゐると思ふ。

本書は上海から刊行されてゐる關係上、上海、南京方面の雜誌が比較的多く收録されてをり、從て本書には北平天津方面の雜誌が比較的等閑に附されてゐることと、全體を通じ重要論文の紹介が相當多く不足してゐるといふ憾みがある。然し容易に見ることの出來ぬ幾多の雜誌が收録されてゐるから、東洋史學研究者が本書により多大な便宜を受けることは言ふまでもない。又雜誌の外に史地週刊(天津大公報副刊)、史學(天津益世報副刊)等の如き有力な新聞までが收録されてゐることは、看過することが出來ぬ。尙清華大學史學科の講師で明史研究の新進學徒吳陰や蕭一山、謝興堯等と共に太平天國の研究で知られてゐる羅爾綱、明清史の研究に精進してをられる謝國楨諸氏の名が本書に散見してゐること

は、筆者にとり特に懐しい気がする。(宮島貞亮)

寄贈交換圖書雜誌目錄

- | | | | |
|-------------------------|----------|------------------------|-----------|
| 瀨野馬熊遺稿 | 瀨野いと | 國學院雜誌 四二の一〇、一一、一二、四三の一 | 國學院大學雜誌部 |
| 釋 椋 稻葉君山著 | 寶 黄 室 | 國民經濟雜誌 六一の四、五、六、六二の一 | 商業研究所 |
| 東方學報 東京第六冊第七册 京都第七册 | 東方文化學院 | 國史學 六 | 國史學會 |
| 九州帝國大學西洋史研究室圖書目錄 | 臺灣史料調查室 | 國史回顧會紀要 三一 | 國史回顧會 |
| 臺灣古碑拓本目錄(其一) | 東京考古學會 | 皇學 四の四 | 神官皇學館 |
| 考古學年報 | 臺北帝大文政學部 | 密教研究 六〇 | 密教研究所 |
| 史學科研究年報第三輯 | 東洋文庫 | 南方土俗 四の二 | 南方土俗學會 |
| 東洋文庫叢刊 第四 清淨道論上 | 岩波書店 | 日本文化 八 | 天理圖書館 |
| ドーンン蒙古史 田中萃一郎譯 | 金雞學院 | 大谷學報 一七の三、四 | 大谷大學佛教研究所 |
| 金雞學院叢刊 一〇四、一〇五、一〇六 | 東北帝大圖書館 | 歷史地理 六八の四、五、六、六九の一 | 日本歷史地理學會 |
| 文化 三の一〇、一一、一二 | 燕京大學圖書館 | 歷史教育 一一の七、九、一〇 | 歷史教育研究所 |
| 燕京大學圖報 九三—九九 | 燕京大學圖書館 | 青丘學叢 二四 | 青丘學叢發行所 |
| 史學消息 一の一、二、三 | 風俗研究所 | 西洋史研究 一〇 | 西洋史研究所 |
| 風俗研究 一九七—二〇〇 | 神社協會 | 仙臺郷土研究 六の一—二、一二、一三 | 仙臺郷土研究所 |
| 神社協會雜誌 三五の一〇、一一、一二、三六の一 | 東京人類學會 | 史潮 六の三 | 大塚史學會 |
| 人類學雜誌 五の一〇、一一、一二 | 上毛郷土史研究所 | 史苑 十の三 | 立教大學史學會 |
| 上毛及上毛人 二三四—二三七 | 日本經濟史研究所 | 史淵 十四 | 九州帝大史學會 |
| 經濟史研究 一六の四、五、六、一七の一 | 東京考古學會 | 史學研究 八の二 | 廣島史學研究所 |
| 考古學 七の一〇 | 考古學研究所會 | 史學雜誌 四七の一〇、一一、一二 | 史學會 |
| 考古學論叢 三 | 考古學會 | 史觀 一〇 | 早稻田大學文學部 |
| 考古學雜誌二六の一〇、一一、一二、二七の一 | 考古學會 | 史林 二一の四、二二の一 | 史學研究所 |
| | | 史前學雜誌 八の五六、年報 | 史前學會 |
| | | 下野史談 一三の五、六 | 下野史談會 |
| | | 書誌學 七の四、五、六、八の一 | 日本書誌學會 |